



Annual Report 2014 → 2015

<年次報告書>

挑戦の伴走者に、熱意のつなぎ役に
G-net NPO法人 G-net



代表挨拶

▼G-netの推移

G-netは、2001年に学生サークルとして発足し、15年10月には、14年となります。また、長期実践型インターンシップ事業に着手して、12年目となります。当初は柳ヶ瀬商店街にオフィスを構え、お祭りや雑誌制作を通じた地域活性化に取り組んできましたが、真の地域活性には中小企業振興と、そしてそれを担う「右腕」人材の育成・コーディネートが必要だと考え、2006年にはお祭り・雑誌から事業撤退して、選択と集中。現在の長期実践型インターンシップ事業を中心としたG-netへと転換してきました。

▼ホンキ系インターン、質のさらなる向上と、他の地域・機関へのノウハウ移転へ

G-netのホンキ系インターン事業も、堅調に推移する中で金融機関や大学との連携なども確実にすすみ、足元を固めつつも次のフェイズを目指すべき段階だと考えています。全国で唯一地方都市にて自立事業として成果を出している先進事例として、注目を集め、今春経済産業省より発行された「中小企業白書」でも2ページにわたりご紹介いただきました。

直接コーディネートを行うインターンの規模は現状の規模+ α にとどめ、品質の向上とノウハウの言語化に注力し、コーディネーター人材の育成と、他団体へのノウハウ提供を通じたソーシャルインパクトの最大化を目指します。尾鷲商工会議所や愛知県岡崎市(コラボキャンパス三河)へのノウハウ移植に続き、今年度から名古屋学院大学や愛知県立大学でもG-netがノウハウ提供をするプログラムが採用されました。

▼中小企業と「みぎうで」となる若者をつなぐ、「就職」と「採用」に本格参入

一方で、インターン経験者の大学卒業生数が増加する中、彼らのネクストステップにも地域の課題解決や、主体的に取り組める「就職」機会が、重要だと考えています。昨年度までの「若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選」を通じて得られた魅力的な中小企業とのネットワークを活かし、就職・採用支援の事業化に向けての動きを本格化させました。

しかし単にマッチング機会の提供ではなく、インターン事業で得られた「限られた期間で若者を戦力化し、定着を促すコーディネートノウハウ」を活かした、これまでにない取り組みを目指します。

なお、中小企業庁との大規模な連携事業の実施を通じて、全国的にも稀有なみぎうで就職・採用支援事業の開発とインターンのノウハウ移転を進めていきます。

▼さらなる展開へ、より一人ひとりが活躍できる組織へ

上記のような方針をより確かなものにすべく、インターン事業のノウハウ展開の統括と中小企業庁事業を担当する共同代表(兼インターン事業統括部長)を創設し、南田修司が着任。実際のコーディネートを通じた統括するインターン事業部長の後任には田中祥子が担当をします。

あわせて、田中勲(就職・採用支援事業部長)は理事に新任し、より大きな活躍を期待しています。

こうした体制の見直しを通じて、より一人ひとりが責任と裁量を持ちながら活躍できる組織を目指します。

本日も、そしてこれからも、チャレンジすることが何よりも尊いという想いを胸に、チャレンジする若者と、チャレンジを応援するオトナや経営者をつなげるため、G-netは伴走者として走り続けます。

そんなG-netをどうぞ皆様で支えていただき、そしてぜひ、一緒にチャレンジを！

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

G-netのロードマップ

第一フェイズ 主体者

トークライブ
カウントダウン GIFT
ビーンズフェスタ
フリーペーパー

- ・01年10月 期間限定団体(6ヶ月)として立ち上げ
- ・トークライブイベントを定期開催
- ・「カウントダウンイベント」を開始(01~04)
- ・「ビーンズフェスタ」を開始(02~07)
- ・03年5月 NPO法人格取得
- ・フリーペーパー「ORGAN」・「Beans!」(03~07)



ビーンズフェスタ2002

第二フェイズ 伴走者としての挑戦

ホンキ系インターン
U・ターン支援

- ・経産省/チャレンジコミュニティ創成事業採択(04~06)
- ・「ホンキ系インターン」事業開始(04~)
 - ・岐阜大/四日市大/日本福祉大等 授業開始(07~)
 - ・三重県庁・岡崎市ノウハウ移転事業 開始(08~)
 - ・地域若者チャレンジ大賞 大賞受賞(10)
 - ・岐阜信用金庫/百五銀行との連携開始(13)
 - ・コーディネーター養成講座を他機関向けに開始(14~)
- ・地域協働型インターン事業開始(10~)
 - ・名古屋学院大学現代社会学部と提携(14)



ORGAN



インターンシップフェア

創業・独立支援
かけたす・東海若手起業塾

- ・経産省/創業支援フォーラム・創業塾開催(06~)
 - ・一般社団法人SRプラットフォーム参画(11)
- ・インキュベーションオフィスかけたす(07~09)
- ・ブラザー工業協賛「東海若手企業塾」(08~)
- ・岡崎ビジネスサポートセンターOKα-Biz(13~)



ホンキ系ガクセイ

つながりコーディネート
コミュニティづくり

- ・経産省「新連携」「地域資源活用プログラム」等採択(06~)
- ・経営力向上にむけ理事会改組(09)
- ・学生向け情報サイト「ホンキ系ガクセイ」運営開始(14~)
- ・東日本大震災復興支援活動(11)

第三フェイズ コミュニティづくりへの挑戦

重層的な
若者支援

- ・岐阜大学「学生ボラネット」開設(12~)
- ・賛助会員制度の発足(10)
- ・地域若者応援ファンドの新設(12~)



地域若者応援ファンド

地域に根差し
地域で活躍する
若者の育成

- ・若者と企業と地域のための研究所 設立(12)
 - ・『岐阜「中小企業と若者」就職白書』1・2号 発行(12~)
- ・「日本仕事百貨」との事業提携締結(12~)
- ・『若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選』発行(13)
- ・地域で活躍する若者事例集『みぎうでという働き方』発行(14)



若者が選ぶ岐阜の魅力的な会社100選

継続的な地域の
みぎうで育成

- ・採用・就職支援事業「みぎうで」開始(14~)
- ・ゴールドマンサックス中小企業経営革新プログラム(14~)
- ・グロービス経営大学院と連携した中小企業若手向け研修事業(14~)
- ・中小企業庁「UIターン人材拠点事業」採択(15~)

G-netの事業戦略

■G-netのミッション

地域へ愛着をもち、地域課題の解決に主体的に取り組んでいく人材育成を通じ地域活性化をめざす。

- ・地域産業の時代に応じた変革とその担い手となる若者の育成は、地域にとって不可欠
- ・若者と地域の接点作りから育成、みぎうで人材としての定着までのトータルコーディネートが重要
- ・企業フェーズに合わせた事業作りや採用支援など長期的に寄り添う中小企業の人事部に

G-netの取り組む打ち手

行政や他団体との連携



- ・【新卒】採用・就職支援事業「みぎうで」
双方指名型求人リアルみぎうで
ホネカフェ、みぎうでセミナー
- ・【中途】日本仕事百貨
- ・【創業】地域若者チャレンジファンド

- ・長期実践型インターン
(6ヶ月程度)

- ・地域協働型インターン
(4-6週間程度)

- ・学生ボラネット推進協議会
- ・学生部「3charge」

- ・複数企業取材型インターン「シゴトリップ」
- ・大学と連携した授業プログラム

- ・中企庁 地域中小企業人材確保・定着支援事業
一(株)マイナビと連携
- ・中企庁 UIJターン人材拠点事業
一(株)名大社と連携
一(一社)地域問題研究所と連携
- ・(財)岐阜県産経センター、ジンチャレ!と連携
- ・岐阜県中小企業連合中央会と連携

- ・内閣府「若者雇用戦略」への明記
- ・岐阜県「産業振興ビジョン」での推進明記
- ・岡崎市/尾鷲商工会議所、他地域支援
- ・岐阜信金/百五銀行 等との連携

- ・岐阜県との連携、岐阜県内全大学で単位化
- ・名古屋学院大学現代社会学部と連携
- ・大学コンソーシアム連携事業として実施

- ・ぎふNPOセンター/岐阜県/岐阜大学と連携
- ・大学コンソーシアムでの連携事業として実施

- ・協働/連携したプログラム実施
- ・岐阜県や大学、中小企業との連携実施
- ・愛知県立大学、名城大学と連携

■事業実施のポイント

意欲ある人々のチャレンジを支援し 共感を呼ぶ成功事例を創出し、挑戦を誘発していく

■G-netの存在意義は？

- ・地域産業を担う主体的/自律的な人材が育まれる仕掛け作りや、プラットフォームの構築
- ・大学が、地域に根付き、地域社会との協働による人材育成の場を生み出すためのコーディネート
- ・都会より地域、大企業より小企業、衰退より革新・・・、新たな社会での生き方を示し、ひっくり返す存在へ
- ・企業の変革、若者の成長を、多層的、重層的にサポートするためのモデルとなる仕組みを生み出す
- ・本当に地域を変えていくことにこだわる
- ・「活動すること」でなく、変革をし、成果を上げることにこだわりきる

2014年度事業 概況

■収支

収入 78,115,947円 (前年度: 72,124,273円 前年度比:108.3%)
 支出 75,367,949円 (前年度: 75,370,902円 前年度比: 99.99%)
 収支差 2,747,998円 (前年度: -3,246,629円)
 正味財産 271,785円

自主財源38.9%、行政委託40.73%、補助・助成19.19%、その他 1.16%
※小数点以下第三位切り捨てのため、合計が100%になっておりません。

■インターン事業

売上 26,262,430円 (前年度: 26,689,532円 前年度比:96.96%) (売上に占める割合:33.61%)
 長期実践:マッチング件数 のべ32社(前年度:33社) 45名(前年度:45名)
 地域協働:マッチング件数 のべ17社(前年度:16社) 35名(前年度:34名)
 主要事業:ホンキ系インターン、岐阜県実践型インターン事業

■創業・中間支援事業

売上 10,460,946円 (前年度: 1,667,668円 前年度比:15.94%) (売上に占める割合13.39%)
 主要事業:がんばるビジネスウーマン応援事業、東海若手起業塾、創業経営支援セミナー等

■就職・採用支援事業

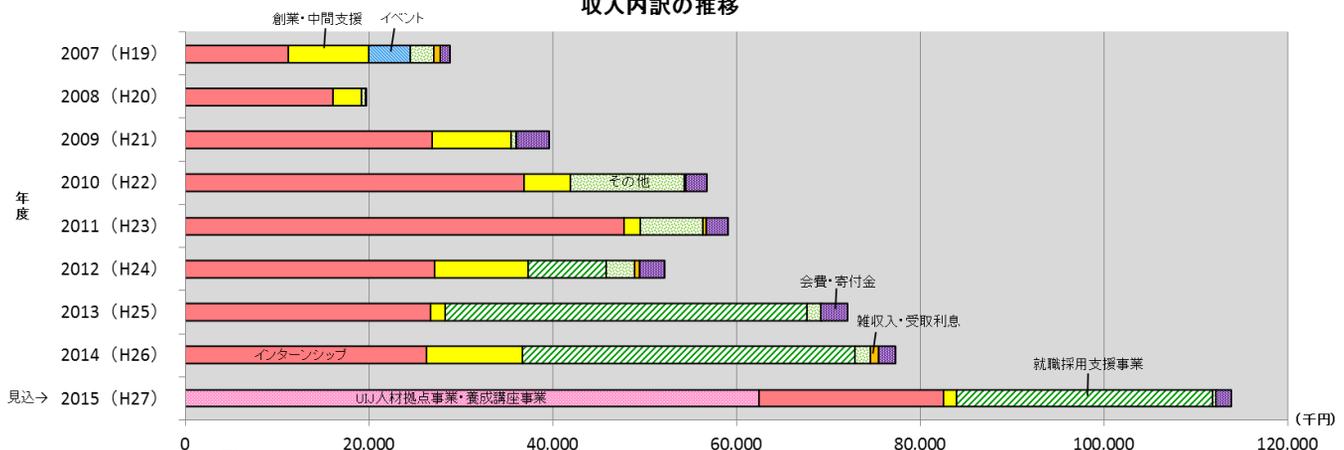
売上 36,165,548円 (前年度: 39,338,852円 前年度比:91.93%) (売上に占める割合46.29%)
 主要事業:地域中小企業の人材確保・定着支援事業等

■その他の事業

売上 3,392,521円 (前年度: 4,428,221円 前年度比:76.61%)
 主要事業:賛助会費、寄付、講演等

■全体 収入の構成推移

収入内訳の推移



	2015 (H27)	2014 (H26)	2013 (H25)	2012 (H24)	2011 (H23)	2010 (H22)	2009 (H21)	2008 (H20)	2007 (H19)
■UII人材拠点事業・養成講座事業	62,447,388	0	0	0	0	0	0	0	0
■インターンシップ	20,102,441	26,262,430	26,689,532	27,185,673	47,817,961	36,891,831	26,880,211	16,128,726	11,254,835
■創業支援・中間支援	1,400,000	10,460,946	1,667,668	10,165,734	1,715,463	5,077,596	8,584,174	3,104,047	8,778,841
■就職・採用支援	27,913,711	36,165,548	39,338,852	8,518,800	0	0	0	0	0
■イベント	0	0	0	0	0	0	0	0	4,467,603
■フリーペーパー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■その他	334,834	1,713,386	1,504,866	3,095,220	6,825,640	12,353,154	548,046	432,190	2,580,716
■雑収入・受取利息	12,000	909,191	12,589	531,133	386,873	155,322	120,967	9,181	735,615
■会費・寄付金	1,683,535	1,858,406	2,910,766	2,720,182	2,393,768	2,328,030	3,533,769	0	999,475

ホンキ系インターンシップ

堅調な長期実践型インターン事業、
海外展開プログラムを新たに実施。

14

32

社

受入企業
(のべ)

← 33社

45

名

インターン
学生数

← 45名

26

大学

授業等
連携大学

← 25大学

- 大学内説明会など大学との連携進む
 - 一名城大学など学内説明会の実施。キャリアセンターとの連携強化
- 企業
 - 一新規受入企業の開拓と実施。海外プロジェクトに注力
 - 一企業向け勉強会の定例化に向けて研修プログラムを試行錯誤
- 学生
 - 一初のオランダからの学生受入し、単位化のサポート
 - 一インターンシップフェア前後のセミナーを複数回開催し、マッチング向上のための試行錯誤の実施
- 他地域展開
 - 一行政機関、商工団体、大学、コーディネート機関を対象とした連携会議を開始
 - 一高水準のインターンシップの標準規格策定に向けて連携



グロービス名古屋校での
インターンフェア

体制変更。直営ホンキ系・ノウハウ移転の
2チームに。直営プログラムを磨きあげる。

15

40

社

受入企業
(のべ)

← 32社

50

名

インターン
学生数

← 45名

30

大学

授業等
連携大学

← 26大学

【直営ホンキ系インターンシップ事業部】

- 企業開拓・サポート方針
 - 一岐阜・愛知県企業、地場産業企業を中心に新規企業開拓を推進
 - 一金融機関や企業との連携による、インターンの成果を増大させるプログラムの企画の確立
- 学生
 - 一同期・異期のコミュニティ構築。OBOGのメンター制などの確立
 - 一メディア広報、企業価値、学生価値の成果の可視化によるブランド力向上
- 大学連携
 - 一ゼミとの連携の推進などによる大学／教員推薦制度の確立

【他地域展開支援事業部／中企庁事業】

- 短期・中期インターンは直営ではせず、ノウハウ提供と人材育成に特化
- 一コーディネーター人材の育成と、ノウハウの他地域・他機関移転支援
- 一コーディネーター養成事業を受託。各県のコーディネーター育成を本格的に開始



前後の期の学生と一緒にイン
ターン生向け宿舎に参加

地域協働型インターンシップ／大学連携

(4-6週間インターンシップ)

「実践型教育プログラム」として、
大学が導入可能なプログラム開発を実施

14

17社 ← 16社 (受入企業 (のべ))
35名 ← 34名 (インターン 学生数)
5大学 + 1 (連携大学)
コンソーシアム (岐阜県内22大学)

■大学連携の強化・共同企画の推進

- ー岐阜大学『次世代地域リーダー育成プログラム』地域実践科目群への位置づけ
- ー大学が中心となって運営できるモデル作りの試行錯誤

特に、名城大学、名古屋学院大学等の本格連携に向けてプログラム開発を進める

■岐阜大学内での学生コミュニティ形成の基盤作り

- ー7～8期の岐阜大学生が学生団体「さんちゃ」の代表的人物へ
- ー昨年度よりも、岐阜大生の参加率が増加

■プログラム設計の充実

- ーフルコミット型、短期集中型の2パターンつくったことで、企業の特徴を活かし、学生も参加しやすいプログラム設計の検証ができる
- ーインターンが始まる前に、プレインターンを実施。意図的に同期の関係性作りやマインドセットができる



プレインターン



飛騨・郡上エリアなどの地域問題とも向き合う

直営実施は終了し、大学や他地域と連携し、
他機関へのノウハウ展開に注力。

15

18社 ← 17社 (受入企業 (のべ))
40名 ← 35名 (インターン 学生数)
5大学 + 1 (連携大学)
コンソーシアム (岐阜県内22大学)
3 (連携機関)

■大学連携・共同企画の運用

- ー岐阜大学の「地域協働型インターンシップ」
- ー名古屋学院大学現代社会学部にて地域協働型インターンをモデルにした、実践型インターンシップをカリキュラム化
- ー大学主体で運営できるような「実践教育型プログラム」としての体制構築への準備、検証。学内コーディネーター育成に向けたFD及びSD研修の実施推進

■コーディネーター人材の育成と、ノウハウの他地域移転支援

- ーコーディネーター養成事業を受託。各県のコーディネーター育成を本格的に開始
- ー飛騨高山地域のコーディネーター団体・NPO法人まちづくりスポットと連携



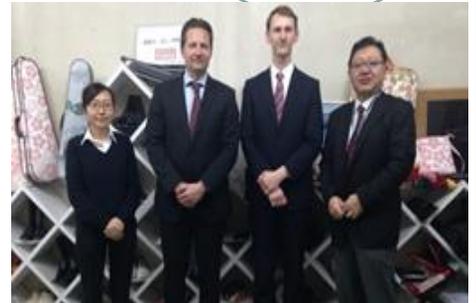
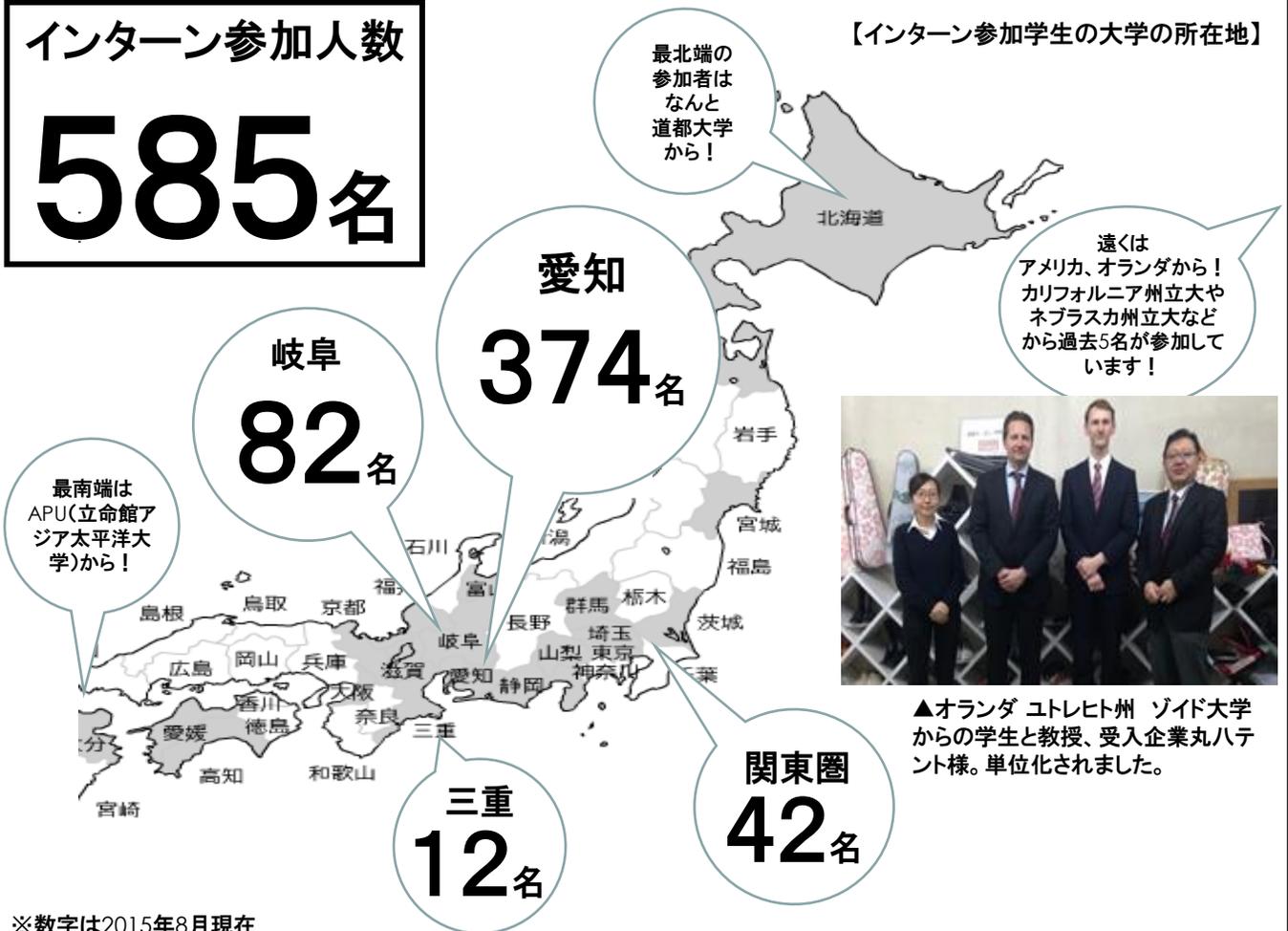
研修会

インターンシップのこれまで

インターン参加人数

585名

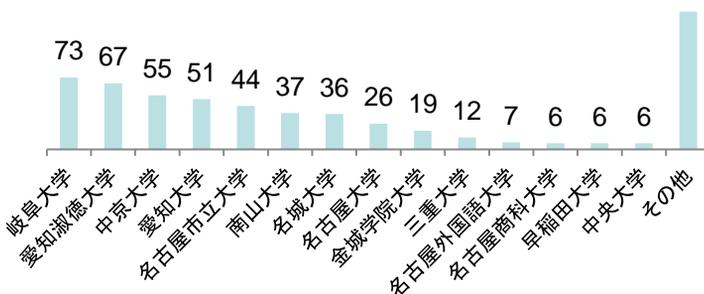
【インターン参加学生の大学の所在地】



▲オランダ ユトレヒト州 ソイド大学からの学生と教授、受入企業丸八テント様。単位化されました。

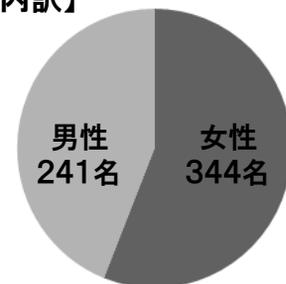
※数字は2015年8月現在

【大学別内訳】



参加学生数ナンバー1は岐阜大学。愛知では、愛知淑徳大学／中京大学／愛知大学／名古屋市立大学／南山大学から多くの学生が参加している。海外からの留学生も1名参加した。

【男女別内訳】



全体として女子学生の参加が増えているが、地域協働型は男子学生の参加数が伸びている。

主要な大学でインターンOBOGによる「インターン・コミュニティ」が継続しているだけでなく、教員との連携が加速し、学内での説明会開催など新たな接点を通じての参加が増えるようになった。

OBOGによるイベント運営なども定着している。

同様に、受入企業の募集も口コミ紹介や他事業での関係性をきっかけに、着実に増えている。

就職・採用支援事業 (みぎうで事業)

自主事業としての1年目。地域中小企業の「社外人事部」として手ごたえと、課題の発見

14

21 社

登録
企業数

163 名

登録
学生数

■中小企業の採用支援事業本格始動

採用支援事業「みぎうで」と名づけ、自主事業として本格始動した。16卒学生を対象に魅力的な中小企業と意欲ある若者をつなぐことに特化した、「指名型のマッチングイベント」、「就活シゴトリップ」など自主事業として実施した。

■中小企業庁受託「人材確保・定着支援事業」の実施

岐阜県中小企業団体中央会と連携し協働受託。意欲ある若者に対して、知名度は低い魅力的な中小企業を紹介していくセミナーや懇談機会を設定した。

■中小企業庁受託「都市部における優秀な若手人材の発掘及び地域の中 小企業への橋渡し機能強化」事業の実施(東海圏)

2015年度の本格始動を目指した先行事業として、東海シゴトフェスタを実施。地域中小企業向けに新たにビジョンとやりがいに特化した企業展の開発を模索した。

■「就職白書」第2弾を発行

第2弾として採用に関する中小企業の実態や課題にせまる就職白書を9月発行。



東海シゴトフェスタ



双方指名型リアルみぎうで

中企庁事業を活用し、単にマッチングでない「育成・定着支援」事業としての展開へ

15

16卒

10 件

マッチング
数

17卒

50 社

登録
企業数

200 名

登録
学生数

■地域中小企業の社外人事部としてみぎうで人材の『育成』を

17卒学生に対しては、単なる接点づくり・求人イベントの実施だけではなく、各プログラムを通じて「みぎうで」人材となれるよう、育成にも取り組む。

登録企業にマッチングした16卒の新入社員に対しては、入社後早期から活躍できるようにするため、プロジェクトを組んで育成・定着支援を実施予定。

■中企庁 岐阜県人材コーディネート機関事業、UIJターン人材拠点事業を受託

県CD機関はマイナビと、UIJターン拠点は名大社・地域問題研究所とコンソーシアムを組んで受託。地方創生の追い風を受け、将来地域の産業を担う人材を発掘し、地域の中小企業へとつないでいく。全国と連携して優秀な人材が地域の企業へ目が向きマッチングしていく大きな潮流をつくり、来年度以降も加速させていくための基盤を整備する。



シゴトフェスタ in 名古屋



16卒の新入社員向け研修会
※イメージ

組織体制・ファンドレイズ

ホンキ系10th記念ノベルティ製作 東海若手起業塾での役割は順次縮小へ

14

■ホンキ系インターンシップ10周年記念ノベルティを販売開始

G-netオリジナルデザインを入れたノベルティ(クリアファイル、タンブラー)を製作。チャレンジフォーラム2014を皮切りに販売を開始した。これまでの支援に感謝するとともに、継続的な支援を広く呼びかけた。



ホンキ系インターン
10th記念タンブラー

■G-netへの賛助会員/寄付の継続募集

インターンOBOGに限らず、広く市民のみなさまへの賛助会員募集を実施。インターン、採用支援事業での関わりだけでなく、ともに地域をよくする仲間としての賛同を集めた。



寄付付き自販機

■「地域若者応援ファンド」自販機設置箇所の拡大

ファンド資金を集めるため、寄付付き自販機の設置企業を引き続き依頼し、新たに2社での設置がなされた(大橋量器さま、山川醸造さま)

組織体制の大幅な見直しと、 新たな連携を通じた中小企業庁事業の受託

15

■多様な連携を通じ、中小企業庁の大規模プロジェクトを受託へ

これまで、自主事業などの企画・実施などを目的に、多様な機関との連携を行ってきたが、新年度ではより広範な事業連携(コンソーシアム組成など)を通じ、大規模プロジェクトを実施へ。



(左) 南田修司/共同代表 理事

中企庁事業統括及び、インターン事業ノウハウ移転を担当。また、広範な事業執行を管轄

(中) 田中勲/理事 就職・採用支援事業部長
より広範なG-netの事業展開全般への参画を意図し、新たに理事就任

(右) 田中祥子/インターン事業部長
長期実践型・地域協働型インターンシップのコーディネート全般を担当



平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

平成26年度 活動計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人G-net

(単位: 円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費	19,505,000	19,505,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	1,303,406	1,303,406
3. 事業収益		
インターンシップコーディネート事業収益	8,232,430	
コミュニティビジネス・創業支援事業収益	10,460,946	
就職採用支援事業収益	20,252,094	
その他事業収益	1,713,386	
本部事業収益	746,040	41,404,896
4. 補助金等収益		
補助金収益	14,993,454	14,993,454
5. その他収益		
受取利息	2,206	
雑収入	906,985	909,191
経常収益計		78,115,947
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	31,538,817	
雑給	8,800	
法定福利費	4,836,424	
人件費計	36,384,041	
(2) その他経費		
通信運搬費	145,680	
広告宣伝費	5,908,007	
減価償却費	401,287	
賃借料	2,998,413	
修繕費	309,546	
印刷製本費	3,785,756	
消耗品費	674,189	
水熱水料費	393,689	
旅費交通費	5,883,138	
租税公課	1,382,557	
交際接待費	213,721	
保険料	684,666	
通信費	462,612	
諸会費	213,681	
委託費	751,971	
新聞図書費	240,146	
地代家賃	1,862,545	
会議費	1,035,423	
燃料費	358,857	
研修費	58,701	
諸謝金	6,310,649	
奨学費	1,549,076	
雑費	800,921	
支払利息	632,601	
その他経費計	37,057,832	
事業費計		73,441,873

2. 管理費			
(1) 人件費			
給与手当	951,919		
雑給	164,220		
法定福利費	321,287		
人件費計	1,437,426		
(2) その他経費			
通信運搬費	5,988		
広告宣伝費	25,100		
減価償却費	18,249		
賃借料	27,218		
修繕費	9,022		
印刷製本費	39,265		
消耗品費	25,962		
光熱水料費	17,902		
旅費交通費	32,548		
租税公課	62,778		
交際接待費	4,038		
保険料	7,084		
諸謝金	5,702		
通信費	17,753		
諸会費	3,349		
委託費	1,262		
燃料費	7,019		
研修費	563		
新聞図書費	9,752		
地代家賃	84,688		
会議費	20,418		
雑費	34,264		
支払利息	28,726		
その他経費計	488,650		
管理費計		1,926,076	
経常費用計			75,367,949
当期正味財産増減額			2,747,998
前期繰越正味財産額			△ 2,476,313
次期繰越正味財産額			271,685

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成27年3月31日現在

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人G-net

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,390,199		
未収金	16,301,528		
棚卸資産	596,080		
前払費用	1,106,816		
仮払金	33,658		
未収入金	365		
流動資産合計		31,428,646	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	1		
リース資産	520,100		
有形固定資産計	520,102		
(2)投資その他の資産			
出資金	210,000		
保証金	8,000		
投資その他の資産計	218,000		
固定資産合計		738,102	
資産合計			32,166,748
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	19,000,000		
未払金	4,661,353		
預り金	330,817		
仮受金	16,343		
流動負債合計		24,008,513	
2. 固定負債			
長期借入金	7,350,000		
リース負債	536,550		
固定負債合計		7,886,550	
負債合計			31,895,063
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		△ 2,476,313	
当期正味財産増減額		2,747,998	
正味財産合計			271,685
負債及び正味財産合計			32,166,748



NPO法人G-net

〒500-8844

岐阜市吉野町6-2 ブラザービル2階

Tel.058-263-2162 Fax.058-263-2164

URL: <http://www.gifist.net> (コーポレートサイト)

URL: <http://www.honki-i.net> (学生向けサイト)

URL: <http://migiude.gifist.net/> (就職・採用支援事業サイト)

Facebook : <https://www.facebook.com/Gnet.gifu>

【お願い】

2012年度より、賛助会員制度(※別紙参照)を本格的に運用しております。

G-netのサポーターとして、個人・法人問わず多くの方々に支えていただけますよう宜しくお願いします。